

CASBEE[®]-不動産

【集合住宅】

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産 2024年版

v1.0

建物概要					
建物名称	ジオエント福島野田	敷地面積	567 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	大阪府大阪市福島区	建築面積	279 m ²	評価の実施日	2025年9月3日
用途地域	準工業地域、準防火地域	延床面積	2,049 m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	共同住宅	地上10F		不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2022年2月28日	階数		確認日	2025年11月4日
直近の大規模改修実施年月		構造	RC造	確認者	米田 拓朗
		平均居住人員	74 人	不動産評価員番号	ふ-001471-29
		年間使用時間	8,760 時間/年		

評価結果									
74.6 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78						
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★		≧	60						
B ランク:★★		≧	50						
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数: A1-A5		B1,B3-B5			
				B6-B6		C1-C4			

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標（*は参考値）	評価値	
適合	加点 1	根拠等	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	161 MJ/m ² ・年
13.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(計画値)	MJ/m ² ・年
		根拠等	BEI = 0.93	二次エネルギー(*)	kWh/m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価	GHG排出量(*)	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
		根拠等	エネルギー消費量実績値一覧参照	一次エネルギー(実績値)	162.9 MJ/m ² ・年
			二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	二次エネルギー(*)	16.7 kWh/m ² ・年
			GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO2/kWh(電気)	GHG排出量(*)	7.2 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策	導入された対策項目数	項目
		根拠等			
5.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)	利用率	88.0	%
		根拠等	非化石証書の購入により実質88%が自然エネルギー由来		
23.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	22.9 L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
3.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等	1)、3)	取組数	2 項目
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)		水使用量(実績値)	23.2 L/m ² ・年
		根拠等	水使用量実績値一覧参照		
8.0	10	合計			

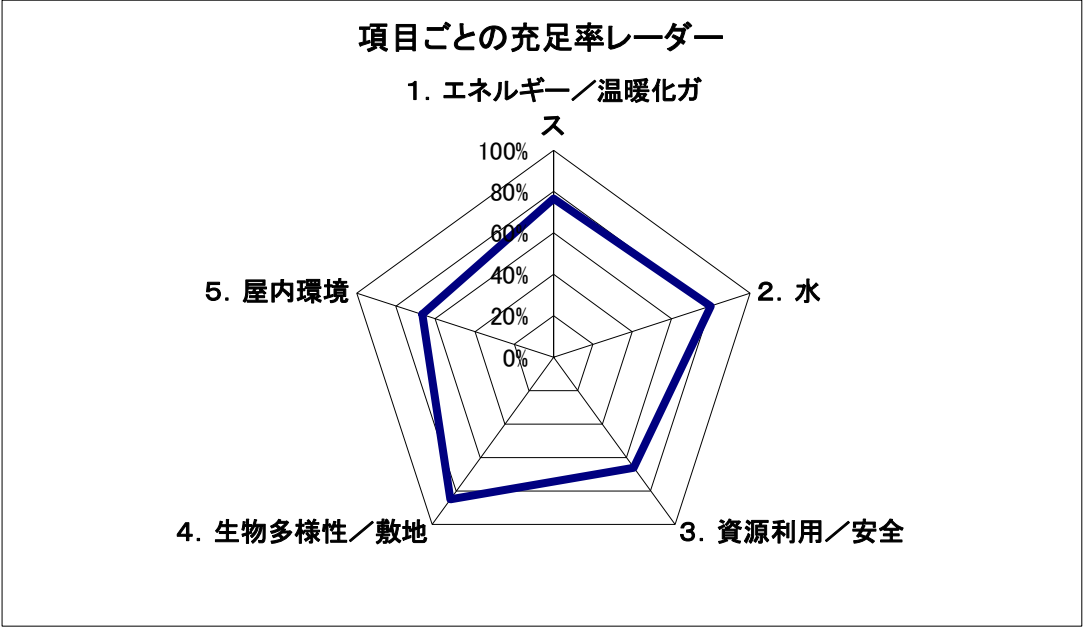
3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	導入していない		
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
		① 躯体材料	使用していない		
3.0		② 非構造材料	リサイクル資材を使用している	リサイクル材品目数(非構造材)	4 品目
5.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制			
4.0		根拠等	1)、2)、3)、6)	取組数	4 ポイント
	加点 1	3.3 躯体材料の耐用年数		経過年数＋今後の想定耐用年数	年
3.0	5	根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.2		3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		更新年数の平均値	22 年
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		自給率向上の取組数	項目
		根拠等	計算式参照		
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		維持管理に関する取組数	13 ポイント
		根拠等	特になし		
5.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	1)～6)		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	建築物移動等円滑化基準の半分以上を満たしている		
13.3	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし	
		根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない		
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組数による場合のポイント数	3	ポイント
		根拠等	1)、3)、5)		
[4.2対象外の時は点数を倍]		4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
0.0	0	根拠等	土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない		
[対策不要は対象外]		4.3 公共交通機関の接近性			
5.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	8	分圏内
5.0		根拠等	海老江駅 徒歩5分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮			
2.0	5	4.4 自然災害リスク対策			
		根拠等	リスクの合計数は4種あり、1種については有効な防災対策を実施している	リスクの合計数	4 種類
17.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等	建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし	
		根拠等	質問票への適合		
		5.1 自然利用			
2.3	3	5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光		開口率	28.9 %
		根拠等	計算式参照		
3.0		5.1.1.2 屋光利用設備		屋光利用設備	1 種類
		根拠等	屋光利用設備がある		
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等	居室に自然換気開口がある		
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		天井高	m以上
		根拠等	レベル2を満たさない		
		5.2 健康・快適			
2.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等	外壁断熱、カーテンレール、複層ガラスの設置		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等	居室に冷暖房装置を実装している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等	化学汚染物質を抑える建材を使用している		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等	エントランスにセキュリティシステム、かつITV設備の設置		
13.3	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価 [任意]					
評価	最大(加点なし)	指標	評価値		
5		取組数	A1-A5		項目
			B6-B7		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑ 評価しない場合は空欄					

ジオエント福島野田



環境性能の特徴

- ・エネルギー・水使用量の計算値/実績値が比較的高く省エネルギー性能・節水性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・非構造材料でのリサイクル材利用率が高く、再生材利用に配慮されている。
- ・廃棄物処理負荷抑制対策が適切に行われている。
- ・設備機器の耐用年数も比較的長い。
- ・維持管理への対策がなされている。
- ・バリアフリーへの対策も行われている。
- ・生物多様性向上への配慮がなされている。
- ・徒歩8分圏内に交通公共機関があり利便性が高い。
- ・屋内環境も比較的良好である。